

## 野村リアルグロース・オープン(確定拠出年金向け)

### ◆ファンドの特色

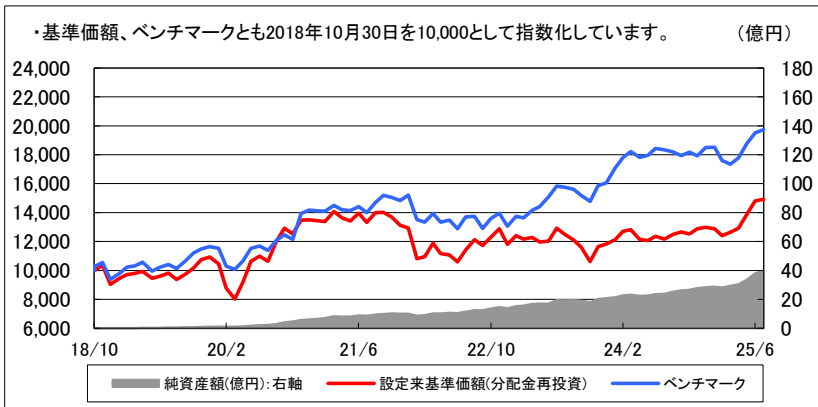
元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 ..... 「野村リアルグロース・オープン マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします
- ・ベンチマーク ..... Russell/Nomura Total Market Growth インデックス※1
- ・目標とする運用成果 ..... 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします

### ◆基準価額、純資産総額

基準価額	14,887円
純資産総額	39.8億円

### ◆基準価額の推移グラフ



### ◆資産構成

株式	97.12%
東証プライム	56.31%
東証スタンダード	23.25%
東証グロース	17.55%
その他	0.00%
株式先物	0.00%
株式実質	97.12%
現金等	2.88%

・株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。

### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヶ月間	6ヶ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定月末来
ファンド収益率(分配金再投資)	15.50%	15.86%	22.63%	9.39%	7.03%	— — —	6.10%
ベンチマーク収益率	11.00%	6.59%	7.59%	12.97%	11.62%	— — —	10.15%
差異	4.50%	9.27%	15.04%	-3.58%	-4.59%	— — —	-4.05%
ファンドリスク(分配金再投資)	— — —	— — —	10.71%	14.91%	17.63%	— — —	20.02%
ベンチマークリスク	— — —	— — —	10.10%	11.89%	13.98%	— — —	14.86%

\*ファンド(分配金再投資)の収益率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

\*収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。

\*収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算していません。

### ◆株式組入上位10業種

	業種	ファンドの ウェイト
1	機械	14.56%
2	情報・通信業	12.95%
3	サービス業	9.41%
4	電気機器	9.26%
5	食料品	7.91%
6	化学	5.75%
7	小売業	5.50%
8	輸送用機器	4.81%
9	保険業	4.15%
10	卸売業	3.67%

\*ファンドのウェイト…マザーファンドのウェイト(純資産総額構成比)

### ◆株式組入上位10銘柄

(組入れ銘柄数 89 )

	銘柄名	ファンドの ウェイト
1	QPS研究所	3.29%
2	フィットイージー	3.02%
3	小池酸素工業	2.98%
4	ライフネット生命保険	2.30%
5	オカムラ食品工業	2.28%
6	大同メタル工業	2.25%
7	インターメスティック	2.13%
8	和弘食品	2.13%
9	やまみ	2.12%
10	ダイキン工業	2.08%

\*ファンドのウェイト…マザーファンドのウェイト(純資産総額構成比)

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式や公社債等値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、野村アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

※1 Russell/Nomura Total Market Growth インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、Russell/Nomura Total Market Growth インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Total Market Growth インデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。